

学 校 給 食

1 基本方針

学校給食センターにおける衛生管理の徹底と施設設備の適切な維持管理により安全安心な学校給食の提供を目指すとともに、学校給食の充実及び学校における児童生徒への食育指導に努めます。

2 基本施策

(1) 安全安心な学校給食に向けての施策

- ア 安全安心な学校給食を提供するため、国が定める学校給食衛生管理基準に基づき、調理業務等の衛生管理を徹底していきます。
- 学校給食センターの円滑な運営と安定した施設管理
 - 調理関係職員及び配膳職員等の保菌検査の実施
 - 調理設備の衛生検査の実施
 - センター内研修における衛生管理の改善指導等の実施
 - 食材の細菌検査の実施
 - 学校内の配膳室の訪問指導の実施
- イ 年間1校当たり183回実施する学校給食をはじめ、様々な教育活動等を通じて食育を計画的に進めるとともに、保護者や市民等への啓発を行います。
- 栄養教諭等と連携した食や健康に関する指導の展開
 - 児童生徒による献立作りや調理体験等の実践的な活動の展開
 - 給食の食材を選ぶ物資選定会への教職員や保護者代表の参加
 - 調理員の学校訪問の実施
 - 市民試食会や家庭教育学級での食育や学校給食の啓発
 - 食育の日や学校給食週間等での学校給食の啓発
 - 市や学校が開催する行事での学校給食の啓発
- ウ 食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同様に給食を安全においしく食べられるようアレルギー対応食を提供します。
- 6品目（鶏卵（うずら卵含む）・乳・えび・かに・いか・たこ）の除去食を提供
 - 食物アレルギー対応マニュアル及び対応食システムの確実な運用
 - 学校給食食物アレルギー対応検討委員会の開催
 - 保護者・教職員・給食センター職員による面談の実施
- エ 国の第4次食育推進基本計画や第3次島田市食育推進計画等を踏まえ、次に掲げる数値目標の達成を目指します。
- 島田市産農産物使用割合金額ベース56.2%・重量ベース40%

- 給食残食率4%以下
- オ 地産地消推進事業は、現在の水準を維持しつつ、安全安心な食材の確保や生産者の顔の見える学校給食の提供を行っていきます。
 - 島田市産農産物利用割合の向上に向けた献立の検討及び実施
 - 学校の校内放送や掲示物による地場産物や生産者の紹介等の実施
 - 生産者の学校訪問やDVD放映による農業や栽培方法の学習機会の創出
- カ 学校給食センターの調理用備品等の更新を計画的に進めます。
- キ 職員の資質の向上に関する事業について、学校給食事業に関連する法令や基準を研修する機会を設け、技能や知識の習得を図ります。
 - 調理員研修会の開催
 - 栄養教諭・学校栄養職員、栄養士、調理員連絡会の開催
 - 学校給食関係職員等の合同研修会の開催
- ク 学校給食費の未納について、各学校と連携して、適切な納付の相談・指導を行い、未納の解消に努めます。
- ケ 市の行政経営戦略行動計画に基づき、学校給食への民間活力の導入を図り、学校給食センターにおける運営の合理化を推進します。

○事務事業評価シートの目標数値

区 分		単 位	令和4年度 目 標	令和3年度 実 績
事業の実績 (アウトプット)	栄養教諭等による食に関する指導（給食時間訪問）	回	243	231
	生産者の学校訪問（DVD放映）	回	20	15
	衛生研修会の開催	回	2	1
	アレルギー対応食に関する説明	回	90	84
事業の成果 (アウトカム)	給食残食率	%	4.00	6.05
	地産地消の推進（島田市産農産物使用の金額ベース）	%	56.20	34.31
	給食を遅延・停止することなく実施する割合	%	100	99.45
	アレルギー除去食を正確に調理・提供する割合	%	100	99.90

【令和4年度目標達成プラン】

- ・学校給食のメニューに島田産のお茶を使った献立を毎月取り入れたり、お茶

について食に関する指導を実施したりするなど、お茶に親しみを持つ機会を設け、「島田市緑茶化計画」を推進していきます。

- 「地場産物を使った料理+具だくさん島田汁」を組み合わせた献立を「おしまちゃんランチ」と名づけ、毎月1回提供し地産地消を推進していきます。

3 令和4年度 学校給食の内容

(1) 学校給食の概要

区分	実施校数	年間実施回数	学校給食費		
			徴収月額	徴収回数	1人1食当たり単価
小学校	17校	183回	4,558円	11回	274円
中学校	6校		5,440円		327円

(2) 食事内容

品目	内容・回数等
パン	食パン、ロールパン、りんごパン、玄米パン、メロンパン等 週1回程度
米飯	米飯、炊き込みご飯等 週3.5回程度 クラス別方式23校
めん類	ソフトめん、中華めん等 月2回程度
牛乳	毎日1本(200cc)
副食	文部科学省が示す栄養基準量を確保するための食糧構成による献立

(3) 地産地消推進状況(令和3年度実績)

項目	使用割合(単位：%)			主な使用地場産物
	重量	品目	金額	
目標数値	40	40	56.2	白米、しいたけ、みかん、ブロッコリー、茶
島田産	27.31	37.50	34.31	さつまいも、チンゲン菜、とうもろこし、枝豆
志太榛原産	32.17	50.00	37.15	小松菜、葉ねぎ、キャベツ、レタス、根深ねぎ

(4) アレルギー対応食の提供

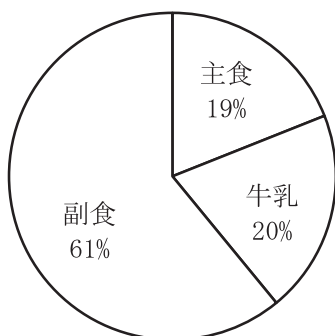
令和4年度対象者 43人

対象食材 鶏卵(うずら卵含む)、乳、えび、かに、いか、たこ

(5) 学校給食費(令和4年度)

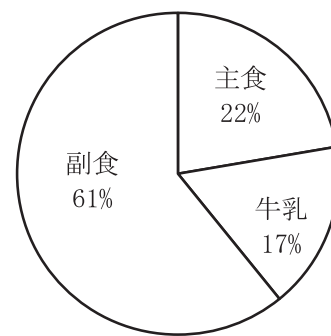
i) 小学校給食費

1人1食当たり食材費	274円
内訳	<ul style="list-style-type: none"> 主食 52円 牛乳 55円 副食 167円



ii) 中学校給食費

1人1食当たり食材費	327円
内訳	<ul style="list-style-type: none"> 主食 73円 牛乳 55円 副食 199円



4 施設概要

(令和4年5月1日現在)

		中部学校給食センター	南部学校給食センター
所在地		島田市落合64番地の11	島田市阪本1337番地
施設	敷地	5,459㎡	1891.57㎡
	建物	鉄骨造一部2階建 2,915㎡	鉄骨造亜鉛鉄板葺一部2階建 1,024㎡
開設年月日		H27.4.1 調理開始 東・西・北部調理場、 金谷給食センターを統合	H7.4.1 調理開始 H15.4.1 六合小、六合東小 東部より移管
給食実施人員		4,920人	2,543人
担当学校		島一小、島二小、島三小、島四小、大津小 伊太小、相賀小、神座小、伊久美小、島五小 金谷小、五和小、川根小 島一中、島二中、金谷中、川根中	六合小、六合東小、初倉小 初倉南小 六合中、初倉中
給食センター関係職員	所長	1人(学校給食課長兼務)	1人(学校給食課長兼務)
	栄養士(県職員)	2人	2人
	運転手	(委託)	(委託)
	調理員	14人(27人)	(委託)
	事務局	4人(1人)	(1人)
	計	21人(28人)	3人(1人)

※()は会計年度任用職員外数

5 施設利用状況(完全給食)

(令和4年5月1日現在)

名称	区分	開設年月日	給食実施人員	名称	区分	開設年月日	給食実施人員
島田第一小学校	昭23.2.16	ミルク給食	552人	島田第一中学校	昭38.10.21	ミルク給食	528人
	昭26.2.16	完全給食			平15.4.1	完全給食	
島田第二小学校	昭23.2.12	ミルク給食	315人	島田第二中学校	昭38.10.21	ミルク給食	554人
	昭26.2.12	完全給食			平15.4.1	完全給食	
島田第三小学校	昭23.2.12	ミルク給食	273人	金谷中学校	昭46.9	完全給食	465人
	昭25.2.10	完全給食		川根中学校	昭45.11	完全給食	59人
島田第四小学校	昭22.2.12	ミルク給食	449人	小計		4,920人	
	昭26.2.12	完全給食		六合小学校	昭33.7.1	ミルク給食	620人
大津小学校	昭30.9.1	ミルク給食	203人		昭45.9.1	完全給食	
	昭37.9.6	完全給食		初倉小学校	昭39.4.16	完全給食	381人
伊太小学校	昭41.4.1	完全給食	47人	初倉南小学校	昭58.4.1	完全給食	311人
相賀小学校	昭41.4.1	完全給食	34人	六合東小学校	昭60.4.1	完全給食	407人
神座小学校	昭41.4.1	完全給食	56人	六合中学校	平7.4.1	完全給食	490人
伊久美小学校	昭41.4.1	完全給食	32人	初倉中学校	平7.4.1	完全給食	334人
島田第五小学校	昭54.4.1	完全給食	295人	小計		2,543人	
金谷小学校	昭35.5	完全給食	562人	合計		7,463人	
五和小学校	昭44.9	完全給食	331人				
川根小学校	昭45.11	完全給食	165人				

※給食実施人員は児童生徒の人数

社会教育

1 基本方針

市民一人ひとりが、生涯を通じて、学びによって自己実現を図り、地域社会で活躍できるよう、地域の人たちと連携・協働し、各自のライフステージに応じた多種多様な学習の機会を提供するとともに、学びの成果を社会活動に役立てることのできる環境の整備を進めます。

特に、コロナ禍によりデジタル情報化が加速されてきたことから、情報格差を解消し知識を習得するための機会の提供を引き続き強化します。

少子高齢化や高度情報化社会の進展により、家庭や地域社会を巡る課題は多様化、複雑化しています。このような社会の中で、青少年が心身ともに健全に成長し、社会の一員として自立し活躍できるよう、家庭や地域における教育力を高めていくとともに、青少年が地域活動に積極的に参加できるよう働きかけていきます。

2 基本施策

(1) 生涯学習の推進

ア 第2次生涯学習推進大綱に基づく生涯学習施策の推進

平成31年3月に策定された第2次生涯学習推進大綱の理念の普及を目指します。特に、幅広い年齢層の市民への学習の広がり重視して、各事業や各活動の後継者育成や若年層の参加の促進を図ります。

さらに、新型コロナウイルス対応策の強化も併せ、デジタル化に対応できるスキルを持つ講師等の育成を図ります。

イ 公民館・公民館類似施設の運営と活動の推進

地域住民の学びへのきっかけづくりを目的として市民学級や社会教育講座等を開講し、地域への愛着や誇りを高める生涯学習推進の拠点として、地域文化の振興を図ります。特に、新型コロナウイルス対応策の強化としてデジタル化に対応した講座等を開催し、市民間の情報格差（デジタルデバイド）の解消を目指します。

また、老朽化により修繕が必要な箇所については、旧金谷庁舎跡地利活用事業に伴う金谷生涯学習センターの改修のほか、計画的な予算執行による修繕を実施し、各施設の安全性の維持と管理を行います。さらに、六合・初倉・金谷の3公民館に係長級の正規職員をセンター長または館長として配置し、公民館業務の機能強化を図るとともに、地域における市民協働推進の拠点としての役割を担っていきます。

さらに、旧金谷庁舎跡地の「金谷地区生活交流拠点整備運営事業」の一環として、令和5年4月から金谷公民館へ指定管理制度を導入するための事務手続きを進めていきます。新たに建設する金谷支所等の新施設と、公民館を含む周辺の既存施設とを一体的に管理運営することにより、地域のつながりやネットワークが深まり、金谷地区がさらに活性化することを目指します。

ウ 東海道金谷宿大学事業の運営

東海道金谷宿大学は、『教えたい人（教授）』と『学びたい人（学生）』の両者に活動の

場を提供する生涯学習事業であり、令和4年度は83講座（予定）を開講し、事業を進めます。

年間講座・短期講座の新規の開設及び新規学生の獲得とともに、教授の高齢化に伴う後継者育成は大きな課題となっています。これを改善するため、学生が現教授の講座を引き継ぐ方法など後継者の育成や発掘について引き続き検討していきます。

エ しまだ楽習センターの運営

一層の運営効率化とサービス向上を目指し、平成30年4月から指定管理者として「静岡ビル保善株式会社」が管理運営を行っています。

専門性を生かした自主講座の開催等による市民目線でのサービス向上、及び新型コロナウイルスへの適切な対応により、市民の生涯学習活性化に寄与するよう要請・指導に努めます。

オ 野外活動センター山の家の運営

平成18年度から「NPO法人いこいの広場」が、指定管理者として管理運営を行い、自主イベントの開催やスポーツと文化合宿のPRなど工夫をこらした運営を行っています。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、野外レクリエーション活動施設として、コロナ禍における強みを生かした運営に努めていきます。

カ 山村都市交流センターささまの運営

平成22年度から指定管理者である地元団体の「企業組合くれば」が管理運営を行っており、体験メニューなどの自主事業や積極的なPR活動を実施しています。

引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、青少年の健全育成や文化芸術団体等の活動施設、都市と山村の交流施設、地域活性化の拠点施設としての役割を果たしていきます。

(2) 青少年の健全育成

ア 家庭教育の充実

家庭教育については、社会教育委員からの提言（「家庭教育の在り方」）を基に、子育てを通じて親が自ら学ぶ場や地域で支える場を充実させるとともに、その理念を具現化するために啓発広報活動を引き続き推進していきます。

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う「家庭の教育力」の向上を図るため、「初めて0歳児を持つ親の講座」、「幼児・児童を持つ親の講座」、「小・中学生を持つ親の講座」など各年齢層に応じた講座や家庭教育講演会を開催します。また、親同士のつながりを大切に、学びあう機会とするため、小学校での家庭教育学級の開設や翌年度の新1年生を持つ親を対象とした親学講座を開催します。このほか、健康づくり課や子育て応援課などと連携し、子育ての悩みや不安を抱える親に対する支援を実施していきます。

「子育て広場」については、引き続きペアレントサポーターが、子育ての不安や悩みについて相談に応じます。また、ペアレントサポーターが独自に開催している自主講座について、支援していきます。

イ 子供の読書活動の推進

島田市子ども読書活動推進計画（第4次計画）に基づき、家庭や地域における子供の読書活動の推進を図るため、各家庭教育学級へ読み聞かせ学習会を提案や親学講座の中で親子一緒に本に親しむことの大切さを引き続き伝えていきます。また、地域での読み聞かせ活動を促進するため、読み聞かせボランティアが公民館等で親子ふれあいの場や親同士の交流の場を設けることを支援するとともに、ボランティア同士の交流や育成を進めていきます。

ウ 青少年育成支援センターの運営

「地域の子供は、地域で見守り育てる」施策を進めるため、育成補導委員による補導活動及び育成活動を推進するとともに、各小学校で実施している「子どもをまもる110番の家」の設置支援を行っていきます。補導活動については実施回数を見直すとともに、インターネット上に潜む危険から子供を守るため、市内の中学校に在籍する生徒を対象としてネットパトロールを実施します。

また、生活安心課が推進する防犯まちづくりと連携し「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」を開催し、地域社会全体で青少年の健全育成を推進する意識をさらに高めていきます。

併せて、青少年相談窓口を開設し、子供・若者やその関係者の悩みを受けとめ必要な支援につなげていくとともに、ひきこもりなどに悩む若者やその家族へ支援を行います。

エ 子ども・若者プランの推進

関係機関との情報共有や連携を図り、第2期島田市子ども・若者育成支援計画「しまだ大井川子ども・若者プラン」を推進します。

オ 子ども・若者支援地域協議会の運営

島田市子ども・若者支援地域協議会の実務者による情報交換会を定期的に開催するとともに、関係各課で協力をして、LINEを活用した各相談窓口の周知を強化します。また、要保護児童対策地域協議会などと連携を図り、課題のある子供・若者に対する支援につなげます。加えて、子供・若者に係る様々な課題に対する地域社会の理解を深めるため講演会を開催するとともに、ひきこもりなどに悩む若者の家族に対する親学講座を行います。

カ 青少年育成事業の推進

日常生活の中で関係性が薄れつつある地域社会や自然とのふれあいの中で、異年齢で構成された集団活動を通じて、青少年の自主性や連帯性、社会性などを培うとともに、郷土への愛着心を醸成し「地域に貢献できる人づくり」を継続的に推進していきます。

- 少年育成教室「しまだガンバ！」
- 青少年リーダー養成講座「はばたけリーダー！2022」
- 青年ボランティア講座
- 通学合宿
- 子ども会連合会への支援

キ 学校・家庭・地域の連携による教育支援事業

○放課後子供教室の開催

放課後における様々な体験機会の提供を行う安全・安心な居場所づくりを進めると同時に、心豊かでたくましい子供を地域全体で育てるため、地域住民の協力を得る中で、岡田公会堂での活動を継続し実施していきます。また、放課後児童クラブや湯日の子ども達を見守る会との事業連携も推進していきます。

○地域学校協働本部事業

学校への必要な支援を地域住民の参画により実現するために、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を市内全小・中学校に配置し、地域と学校が連携・協働して様々な活動を実施し、コミュニティ・スクールとの一体的な推進を図ります。また、学習支援「しまだはつくら寺子屋事業」については、活動区域を初倉小学校、初倉南小学校として実施します。

ク はたちの集いの開催

はたちになった若者が一堂に会し、社会人としての責務や自覚を促し、郷土愛を育み、今後の島田市を担う意識付けを行うため、集う式典を開催します。

3 施設概要

施設名	所在地	設置年月日	施設内容
六合公民館	道悦五丁目13番3号	S32. 10. 1 (移転新築) H21. 4. 1	鉄骨造2階 延床面積 1,299.61㎡
初倉公民館	阪本1336番地の1	S42. 7. 1 (移転新築) H21. 10. 1	鉄骨造2階 延床面積 1,882.81㎡ (初倉児童センター等を含む)
金谷公民館	金谷代官町3400番地	H17. 3. 19	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階 延床面積 2,829.98㎡(金谷図書館を含む)
大津農村環境改善センター	尾川1番地	S63. 2. 1	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋 延床面積 995㎡
伊久身農村環境改善センター	伊久美3300番地	S59. 10. 15	鉄筋コンクリート造平屋 延床面積 559㎡
北部ふれあいセンター	神座397番地の1	H9. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 730.40㎡
初倉西部ふれあいセンター	湯日3779番地	H12. 4. 1	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造平屋 延床面積 500㎡
川根地区センター	川根町家山396番地の1	S57. 4. 1 (移管) H22. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 875㎡
しまだ楽習センター	栄町4番の19	H12. 4. 1 (移転) H21. 4. 1	鉄筋コンクリート造9階 (内地上2～6階部分使用) 専用部面積 1,354.30㎡
野外活動センター「山の家」			
センターハウス	身成48番地の3	S59. 6. 6	鉄筋コンクリート造平屋 延床面積 407.91㎡ テニスコート4面、多目的広場 5,600㎡ キャンプ場 3,564.34㎡
宿泊棟	身成103番地の1	(管理研修棟) S62. 5. 1 (宿泊棟) S62. 10. 1	木造瓦棒葺一部2階 延床面積 1,361.89㎡
山村都市交流センター「ささま」	川根町笹間上394番地	H21. 4. 1	鉄筋コンクリート造2階 延床面積 1,109.09㎡ 音楽室 72.42㎡、体育館 448.03㎡ 運動場 6,067㎡

4 施設利用状況（令和3年度）

(1) 公民館・公民館類似施設

施設名	利用状況		講座開催状況	
	利用件数（件）	利用者数（人）	回数（回）	人数（人）
六合公民館	2,277	29,787	217	2,986
初倉公民館	1,714	37,201	126	2,063
金谷公民館	2,236	31,073	134	1,308
大津農村環境改善センター	633	6,835	127	1,380
伊久身農村環境改善センター	134	1,247	14	188
北部ふれあいセンター	397	7,516	75	915
初倉西部ふれあいセンター	683	8,544	22	211
川根地区センター	1,197	22,800	29	453
しまだ楽習センター	1,901	17,441	1,121	11,638

(2) 野外活動センター「山の家」、山村都市交流センター「ささま」

施設名	宿泊総数		施設利用総数	
	件数（件）	人数（人）	件数（件）	人数（人）
野外活動センター「山の家」	744	3,381	3,921	24,718
山村都市交流センター「ささま」	131	1,469	449	8,303

5 事業実績（令和3年度）

(1) 東海道金谷宿大学

生涯を通じて教える喜び、学ぶ喜びを味わい、生きがいを持って生きることを実践するため、「教えたい人(教授)」と「学びたい人(学生)」の両者に活動の場を提供した。

【実施状況】

募集講座数（件）	開講講座数（件）	教授数（人）	学生数（人）
92	86	57	909

(実施講座) 歴史、短歌、俳句、水墨画、英会話、園芸、フラワーアレンジメント、アクセサリ、絵画、書道、写真、生け花、茶道、香道、着物着付け、演歌、琴、ピアノ、体操、太極拳、ヨガ、親子遊び など

(2) 生涯学習大会フェスタしまだ2022！

生涯学習の推進を図ることを目的に、市民が団体やグループで学習した成果や活動内容を発表する場を提供する機会として、毎年度末に「生涯学習大会フェスタしまだ」を開催している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展示部門のみとし、令和4年3月5日（土）、3月6日（日）の2日間にわたり開催をした。

会 場 市民総合施設プラザおおるり 展示ホール

来 場 者 157人

展示団体 12団体

生涯学習の発表をした人の数132人

令和4年度は令和5年3月4日（土）、3月5日（日）を開催予定としている。

(3) 青少年健全育成事業

ア 少年育成教室「しまだガンバ！」

次代を担う子供たちが、集団活動を通して心身ともに健やかでたくましく成長するよう、野外活動を中心として4回の活動を実施した。初回の仲間づくりレクリエーションで団結を深め、ささまデイキャンプ、竹を使ったクラフトなどを実施した。

(対象：小学校4年生～6年生、参加児童33人)

イ 通学合宿推進事業

子供たちに共同生活の機会を設定することで、お互いの立場を理解し、協力し合う心を育むとともに、地域住民の「地域の子供は地域で見守り育てる」意識を醸成することを目的に、地域の支援体制等が整う6つの小学校区において計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全て中止となった。

ウ 島田市青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な事項の調査審議等を所掌するため、地方青少年問題協議会法に基づき設置した協議会で、令和3年度は所掌協議事案がなかったため開催しなかった。

エ 島田市子ども・若者支援地域協議会

社会生活を円滑に営む上で困難を有する子供・若者に対して、関係機関等が効果的かつ円滑な支援を行うため、関係機関の情報交換、ケース検討のほか、連携すべき外部の関係者を交えた研修会を実施した。

【実施状況】

(単位：人)

	内 容	参加人数
研修会（講演会）	年1回開催：令和3年10月22日 講師：静岡大学教育学部教授 小林朋子氏 演題：「子どものレジリエンスを育てるには」 参加対象：一般、教育関係、幼児教育、人権擁護委員、民生・児童委員、保護司、就労関係機関等	76
不登校やひきこもりの回復を考える家族教室・ゆったり座談会	講座：年3回開催（7/5、8/31、11/29） 講師：NPO法人サンフォレスト 代表 三森重則氏 国保年金課 職員 座談会：年2回開催（8/4、12/16）	30
代表者会議	年1回開催（9/27） 第2期島田市子ども・若者育成支援計画の推移状況について 子ども・若者支援の現況について	9
実務者会議	年7回開催（4/19、6/24、7/19、8/16、10/18、12/20、2/21） 庁内関係担当者や外部関係機関との情報交換、課題検討、ミニ研修など	93

オ はばたけリーダー！2021

静岡県青少年指導者「初級」及び「中級」の認定事業として、青少年リーダーとしての資質や専門的な能力を高めようとする中・高校生を対象に事業を実施している。5月22日から11月6日まで、初級・中級各6回の研修を実施した。

【実施状況】 (単位：人)

		受講者の内訳
受講者数	10	中学生7、高校生3
うち中級修了者数	2	
うち初級認定者数	6	

カ 青年ボランティア講座

地域の中でボランティア活動を展開しようとする青年に、知識や技能を習得するための実践的な研修の場を提供するため、子供達との稲作体験や少年育成教室「しまだガンバ！」に参加した。

【実施状況】 (単位：人)

開催期間	活動内容	参加人数
令和3年5月22日から 令和3年11月7日まで	・少年育成教室「しまだガンバ！」 ・デイキャンプ・田植え ・収穫祭	5

キ 成人記念事業

大人になったことを自覚し、これからの人生を自らの力で責任をもち歩んでいく前途ある新成人を祝い励ますとともに、新成人が一堂に会することにより交流を深め市民意識を高めることを目的として開催した。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として、午前と午後の2回に分散して開催し、併せて島田工業生の協力を得て式典の様子を動画で生配信した。

令和4年度は名称を「はたちの集い」として、島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）にて、令和5年1月8日に実施予定。

【実施状況】

○期 日 令和4年1月9日（日）

○会 場 島田市総合スポーツセンター（ローズアリーナ）

○内 容 式典

アトラクション 三味線演奏（大塚 ^{はれるや} 晴也 津軽三味線集団「べべん」）

○対象者 平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた住民登録者及び転出者で島田市の成人式に参加を希望する人

対象者数	出席者数	出席率
1,043人	755人	72.4%

(4) 青少年育成支援センター

青少年の保護・育成に関係する機関及び団体が連携して青少年の育成活動、補導活動及び相談を総合的かつ効果的に推進するために設置したもので、自治会や青少年育成団体等から推薦を受け委嘱した青少年育成補導委員で青少年育成支援センター運営協議会を構成する。街頭補導、地域の青少年声掛け運動、青少年健全育成市民大会の開催など青少年健全育成を推進する

事業や、子どもをまもる 110 番の家設置支援を実施した。

ア 街頭補導

夜間の街頭や催事などを巡回し、声掛け等の補導活動を行い、非行の未然防止に努めた。

【実施状況】

実施回数	活動延人数	補導件数（声かけ）
87回	319人	4件

イ 青少年相談（電話相談等）

ひきこもりやニートなど困難を抱える若者やその家族に対し、必要なアドバイスや支援機関との連携を図ることで、課題解決に向けた相談事業を実施した。（専任相談員 1 人）

【実施状況】

（単位：人）

新規相談者数	17
延べ利用人数	361 内訳：電話145、ライン3、メール8、来所138、訪問65、ケア会議2

ウ 地域の青少年声掛け運動

地域の青少年に対して周りの大人が積極的に関わることにより、青少年の健やかな成長を支援しようと静岡県が展開する運動で、島田市では全市的取り組みとして「しまだあいさつの風プロジェクト」を駅前や小中学校などで実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

【実施状況】

（単位：人）

地域の青少年声掛け運動	賛同者登録数	11,320
あいさつの風プロジェクト	延参加者数	—

エ 子どもをまもる110番の家

子供に危険が迫った際、助けを求めて飛び込める場所を確保するため、地域の協力を得て小学校・PTA・青少年育成補導委員が連携して、子供が確実に逃げ込める 110 番の家の設置を推進した。

【設置状況】（単位：箇所）

設置箇所数	2,402
-------	-------

(5) 青少年健全育成市民大会

市の将来を担う青少年の健全育成を推進することを目的として、「明るく安心して暮らせるまちづくり市民大会」の「青少年健全育成の部」として計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたため、青少年育成支援センター運営協議会表彰式のみ開催とした。

【表彰内容】	日時	令和3年11月20日（土）午後1時30分～
	会場	島田市役所 第3委員会室
	被表彰者	団体 2団体、個人 1人

(6) 放課後子供教室推進事業

放課後、子供たちが地域住民の見守りのもと自主的に活動する場を提供するもので、岡田公会堂において実施した。

【実施状況】

開設場所	開催期間	対象児童	活動内容	年間回数(回)	延参加人数(人)
岡田公会堂	5月19日～3月9日の水曜日16:00～17:20	初倉地区の小学校1年生～6年生	陶芸教室、紙粘土細工、紙飛行機教室等の全体活動と、折り紙、トランプ、自主学習等の選択活動	19	388

(7) 地域学校協働本部事業

学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子供を育てる体制を整えるため、市内全中学校区に地域学校協働本部を設置し、コーディネーターの調整により学校におけるニーズを地域ボランティアにつなぐことで、地域による学校サポート体制の構築や家庭教育支援を行った。

【実施状況】

学校		活動内容
島一中学区	島一中	学習会の企画・運営、支援員募集、学校行事支援、職場体験学習の連絡調整、学校環境整備
	相賀小	相賀谷太鼓の伝承・創作のサポート、学校環境整備、授業補助
	伊久美小	学校行事支援、地域ボランティアの連絡調整
島二中学区	島二中	不登校生徒への支援、相談対応
金谷中学区	金谷中	職業体験学習や読み聞かせボランティアの連絡調整、授業に係る地域団体等の連絡調整
	金谷小	授業やクラブ活動に係る地域ボランティアの連絡調整、Googleフォームにて金小サポーター募集
	五和小	授業に係る地域ボランティアの連絡調整、地域の生き物・スポット等の情報提供
六合中学区	六合中	生徒会活動補助、学習会の企画・支援員募集、授業に係る地域ボランティアの連絡調整
初倉中学区	初倉中	学校の取り組みについて地域・保護者に発信（校内掲示板作成）
	初倉小	〃
	初倉南小	〃
川根中学区	川根中	学校環境整備、学校・地域の合同広報誌作成、地域で子育て懇談会企画・開催
	川根小	

※令和3年度ボランティア延べ人数 616人

○読み聞かせコーディネーター

学校	活動内容
島二中	読み聞かせボランティアとの連絡調整、読み聞かせクラス日誌及びボランティア担当表の作成、学校とボランティアによる打ち合わせ会実施

○家庭教育支援員(相談事業)

(単位：回)

学校	性格・生活習慣	学校生活等	家族関係	障害	友人関係・その他	合計
初倉南小	3	31	0	0	1	35

(8) しまだはつくら寺子屋

家庭において、学習習慣が身につけていない子供たちが、主体的に学習に取り組む習慣を身につけることができるよう、地域の人材（教員OB、大学生等、地元住民）を活用して放課後等における学習支援を実施した。

【実施状況】

寺子屋実施回数	19回	夏季4日	冬季2日
参加児童・生徒延人数	376人	78人	52人
支援員活動延人数	212人		

※夏季は小学生、冬季は中学生が対象。

※令和3年度 中・高生支援員活動延人数（上記に含まない）

中学生支援員 0人 高校生支援員 7人（登録数4人）

(9) 子育て学習推進事業

ア 家庭教育学級事業

心身ともに健やかな子供の成長を育むため、保護者として必要な子供との関わり方や、子育ての悩みを相談し合える仲間づくりの場として家庭教育学級を開講した。

【実施状況】

(単位：人)

事業名	内容	学級生数
家庭教育学級 (市内17小学校)	「つながるシート」を活用したフリートーク、親子体操、読み聞かせ講座、食育講座、誕生学等 新型コロナウイルス感染拡大防止のため9各学級実情に応じた内容で、できる範囲で実施した。	834
家庭教育講演会	令和3年9月4日(土) 子どもの脳と体を育てる正しい睡眠 講師 豊橋メイツ睡眠クリニック医院長 小池茂文 実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	中止

イ 子育て講座等開講事業

子供の「生きる力」の基礎的な資質や能力を培う上で重要な役割を担う親力の向上を図るため、子供の発達段階に応じた学習プログラムを実施した。

【実施状況】

事業名	内 容	回数 (回)	参加 人数 (人)
小・中学生を持つ親の講座	アンガーマネジメントや、アサーティブコミュニケーションなど様々な分野を学びながら、子育ての不安や悩みの軽減を目指した。平日昼間と休日昼間の2回開催した。	2	42
楽しい子育て支援事業	子育て広場「ぐうちよきばあ」を開設し、ペアレントサポーターが子育ての不安や悩みについて相談に応じた。	12	371
幼児・児童を持つ親の講座	0歳から9歳の子を持つ親を対象に、よりよい親子関係を築くための学習プログラムを開催した。3回の連続講座と1回の単発講座を実施した。	4	112
親学講座	小学新1年生の親を対象に、就学時健診や入学説明会で親学ノートを活用した講座を実施した。	10	464
初めて0歳児を持つ親の講座	0歳児を初めて育てている母親のための仲間づくり、親子の絆づくりを実施すると共に、少し先を見通した育児の基礎知識を学習した。	24	566
幼児期家庭教育講座	幼稚園・保育園に通っている幼児の保護者を対象に、個性を生かした子育ての方法、スマホのある子育てについて、学び合う2回連続講座を実施した。	2	61
パパとママのための絵本の広場	親子で読書に親しむきっかけづくりのために大人がじっくり絵本にふれあう講座を実施した。	1	9
親子のふれあい講座	2歳～3歳児の親子を対象に、家庭でできる遊びや運動、簡単な工作等を通して親子でふれあい、家庭教育力の向上を目的とした講座を実施した。	1	64

ウ 子ども読書活動推進事業

○おはなし会

親子で読書に親しむきっかけづくりのため、公民館等の図書コーナーを会場としてボランティアによる「おはなし会」を開催し、絵本の読み聞かせ等を行った。また、社会教育施設を利用した読み聞かせ団体の支援を行った。

【実施状況】

(単位：人)

実施団体	活動拠点	実施日	内 容	参加人数
えのころ	大津農村環境改善センター	第1水曜日 第3土曜日	読み聞かせ、エプロン・パネルシアター、わらべ歌等	520
おはなしのへや ねこバス	六合公民館		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	—

おはなしエプロン	初倉公民館	第3金曜日	読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、手遊び、工作等	68
しろやま読み聞かせクラブ	初倉西部ふれあいセンター	5/12, 7/14, 11/17, 1/18, 3/9	読み聞かせ、創作紙芝居、季節行事で高齢者との交流	310
さくらんぼ	金谷図書館	第2土曜日	読み聞かせ、パネルシアター、ペープサート、手遊び等	293
おはなしアラカルト	伊久身農村環境改善センター		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	—

○読み聞かせボランティア講座

静岡県立中央図書館の新刊サロン参加を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大によりYouTube配信となったため、各自視聴し、学びを深めた。